



2013.11.29
 コチ コンサルティング

12月1日より上海市では《上海市職工基本医療保険弁法》が施行され、旧来の《上海市城鎮職工基本医療保険弁法》は、廃止されます。最近、社会保険料納付比率の調整（引下げ）、社会保険費用申請納付管理弁法の施行と社会保険に関わる調整が続いています。本号では、新法および医療保険制度の概要とあわせ、11月末の現在まで未発表の来年度の休日調整に関して、11月27日～12月4日の予定で実施されている法定休日の振替休暇調整調査に関してご報告いたします。

内容 【人事・労務情報】

- 《上海市職工基本医療保険弁法》と上海市医療保険制度の概要（上海）
- “法定休暇振替休暇調整調査”（全国）
- 【コラム】《中国の病院ランキング》

人事・労務情報

■ 《上海市職工基本医療保険弁法》（上海市職員基本医療保険弁法）

12月1日から施行される《上海市職工基本医療保険弁法》概要

- ・ 適用範囲の拡大
 旧小都市総合保険（上海市郊外の企業対象）、総合保険（非上海戸籍の外来人材対象）も対象とする。実質的に上海市のすべての企業及び職員が職員医療保険制度に加入する。
- ・ 問診・急診受診の医療保険待遇の改善
 - ① 出生年月による保険負担率区分を年齢による区分に変更
 - ② 医療機関のランク（級）による自己負担率格差の拡大、年齢区分と医療機関ランク（級）による医療保険基金負担比率の引上げ。
 - ③ 法改正による公平性の担保：被保険者の待遇維持、定年退職者の待遇維持、1955年12月31日以前の出生者、2000年12月31日以前の保険加入者の過渡期措置の実施。
- ・ 重大疾病問診の範囲拡大
 悪性腫瘍治療方法、一部の精神疾患を新たに付保範囲内とする。
- ・ 個人口座資金使用方法の改善
 被保険者は当年の個人口座資金完全使用后、自己負担を開始する。個人医療口座の暦年残金は自己負担段階ならびに、共同負担段階、指定薬局での薬購入代に使用可とする。
- ・ 共同基金からの拠出最高額の引上げ
 本制度制定当初の7万元から34万元へ引上げ。（2011年に28万元に引上げ済み）
- ・ フリーター等は6ヶ月の待機期間を設置。待機期間満了後、保険待遇享受可とする。（↓図1）

医療	区分	年齢	保険	個人
通院問診	① 保険（個人口座）負担	-	(個人単年口座) 100%	0%
	② 自己負担	-	(個人暦年口座) 上限1,500元 * ①を含まず	暦年口座残高が 1,500元に満たない 場合は現金補填
	③ 共同負担 (共同基金からの保険料拠出)	44歳以下 45歳～退職 退職～69歳 70歳以上	医療機関ランク（1～3級）に応じ 保険負担：50～75% 個人負担：25～50%	
入院医療 重大疾病	保険利用下限以下（標準：1,500元）	-	0%	100%
	保険利用下限～上限（標準：340,000元）	-	85%	15%
	保険利用上限以上	-	80%	20%

NAVI 【医療費負担の仕組み】日本でも医療保険改革は社会の課題となっていますが、中国でも医療保険制度の見直しは比較的頻繁に実施されており、その仕組みは複雑です。

上海市では強制社会保険として企業は社会保険基数の11%、個人は2%を医療保険料として納付しています。企業負担分11%は9%が基本医療保険費用、2%が地方附加医療保険費用です。

中国では個人に医療保険口座が設けられており、

医療保険個人負担部分2%とあわせて、企業負担分より右表の額が個人口座に振り込まれます。

医療費は、まず当年の個人医療保険口座振込額範囲内は個人医療保険口座から支払われ、個人負担は有りません(図1①)。個人医療保険口座の当年度分を使用しきった

後、個人医療保険口座の暦年残高から限度額(1,500元/年)

までは個人口座から引落。個人暦年口座残高不足場合は現金負担の併用。(図1②)1,500元を超えた段階から、年齢、受診医療機関の等級(1~3級)により定められた保険負担と個人負担の比率に応じて共同基金(個人口座外の医療保険基金)から医療費が支払われます(図1③)。

被保険者	年齢区分	個人口座繰込額
在職者	34歳以下	140元
	35~44歳	280元
	45歳以上	420元
定年退職者	74歳以下	1,120元
	75歳以上	1,260元

NAVI 外資系企業では一般的に公的医療保険を補助するものとして、商業医療保険に加入しており、従業員負担“ゼロ”の保険を選択する企業が過半です。個人負担なしをどう見るかは会社の判断ですが、この度の新法規では入院・重大疾病の保険額上限が28万元から34万元に引き上げられ、2000年施行の旧法の70,000元の5倍近くとなっています。医療費の上昇率は賃金上昇率をはるかに上回っていることが推測され、商業医療保険は従業員が望む福利の上位にランクされています。

■“法定休暇振替休暇調整調査”

11月27日零時より、全国休日弁公室がネットを通して「法定休日振替休日調整調査」を開始しました。今回は10月の休日調査以降2回目のネット利用による民衆の意見ヒアリングであり、3つの振替休日プランが提示されネット投票を受けています。

Plan	A	B	C
春節	法定休日3日に近接する土日を振替え7連休とする。		
国慶節	法定休日3日(10/1~10/3)振替え休日調整なし。土日に重なった場合は順延。	法定休暇3日に近接する土曜日を振替え、日曜日と併せ5連休とし、10/1~10/5に固定する。	法定休日3日に近接する土日を振替え7連休とし、10/1~10/7に固定する。
その他の法定休日	1日の休暇のみ。振替え休日調整なし。土日に重なった場合は順延。	1日の休暇のみ。法定休日が水曜日の場合は調整せず、当日1日を休暇とする。法定休日が火曜日、木曜日にあたる場合は近接する土日を振替え、3連休とする。土日に重なった場合は月曜日を補充休暇とする。	

ネット調査開始40分後の11月27日0時40分時点で、C案の支持者が3,801票（53.52%）、A案2,004票（28.22%）、B案1,207票（18.26%）で春節と国慶節を7連休のゴールデンウィークとする案の支持者が最も多いという状況です。

NAVI 11月末の現在、来年元旦（1月1日）の休日調整の発表が待たれていますが、現在のA、B、C案とも1月1日が水曜日にあたることから、現在提示案のいずれかが正式採用される場合、近接する土日の調整はないこととなります。来年度の休日は12月になってから発表すると公式に表明されていますが、ネット調査締切日が12月4日24時とされていることから、12月5日以降の公表となるものと思われます。2014年の法定休日は下記です。

法定休日	日数	日付（2014年）	法定休日	日数	日付（2014年）
元旦	1日	1月1日（水）	端午節	1日	6月2日（月）
大晦日		1月30日（木）	中秋節	1日	9月8日（月）
春節	3日	1月31日（金）	国慶節	3日	10月1日（水）
		2月1日（土）			10月2日（木）
清明節	1日	4月5日（土）			10月3日（金）
労働節	1日	5月1日（木）			

コラム

【中国の病院ランキング発表】

中国の病院ランキングが11月23日に発表されました。1579名の専門家による2012年度中国の最も優れた病院ランキングです。トップ是北京の協和医院です。

【2012年度中国最も優れた病院(総合)】

1 北京協和医院（北京市）	6 復旦大学附属華山医院（上海市）
2 四川大学華西医院（四川省成都市）	7 復旦大学附属中山医院（上海市）
3 中国人民解放军總医院（北京市）	8 中山大学附属第一医院（広州市）
4 上海交通大学医学院附属瑞金医院（上海市）	9 北京大学第一医院（北京市）
5 第四軍医大学西京医院（西安市）	10 華中科技大学同济医学院附属同济医院（武漢市）

中国全土の病院は機能、設備、研究開発、マネジメント状況に基づき1000点満点で査定されます。

病院は下記の基準により三等級に格付けされています。

- ・一級病院（ベッド数100以内）日本でいう保健所、小規模の病院。衛生院。
- ・二級病院（ベッド数101～500）総合的な医療サービスが行える一般的な病院。
- ・三級病院（ベッド数501以上）いわゆる総合病院。教育研究機能も備えた大学付属病院等。

三等級の中にも更にランクがあり、三級特等が病院の最高ランクで次に、三級甲、乙、丙、二級甲、乙、丙、一級甲、乙、丙と10ランクに分かれています。今回トップ10にランキングされた病院は全て三級の大学付属病院です。

中国の病院は、支払いを先に済ませて治療を受ける前金制度です。

高額な特別治療や医薬品の費用が発生する場合も、前払いできなければ治療を受けることはできません。

また基本的には国营病院であり、民営の私立病院や診療所もありますが、規模は小さく医療レベルも高くありません。そのため、総合病院である有名な三級病院に人が殺到し、大変混雑しています。

診察を受けるためにほぼ一日かかることも多く、現在、医療サービス改革が行われています。

